2027年3月期 中間決算について

2026年 11月9日
JFE鋼板株式会社

2026年9月期の連結業績（2026年4月１日～2026年9月30日）

（百万円未満切捨て）

連結経営成績　　（%表示は対前年同期増減率）

	売上高		経常利益	特別損益	当期純利益
	百万円	%	百万円	百万円	百万円
2026年9月中間期	34,296	4.1	2,877	－	1,954
2025年9月中間期	32,951	△ 11.7	3,412	－	2,390

注　連結子会社数　　2026年9月中間期　5社、　2025年9月中間期　5社

（百万円未満切捨て）

(参考)単体経営成績　　（%表示は対前年同期増減率）

	売上高		経常利益	特別損益	当期純利益
	百万円	%	百万円	百万円	百万円
2026年9月中間期	29,962	2.8	2,950	－	2,029
2025年9月中間期	29,134	△ 10.8	3,491	－	2,463

【当中間期の概況と損益】

当中間期の国内薄板建材需要は、建設コストの上昇や人手不足等を背景に、新築の住宅・非住宅ともに力強さを欠く状況が続きました。中東情勢は、ナフサ供給不安やエネルギー価格上昇をもたらし、先行きの不確実性を高めました。一方、その先行き懸念から材料手配の動きが有り、改正建築基準法影響で反動減のあった前年同期比では、販売数量は増加しました。

収益面では、円安・インフレに加え、原材料・副資材価格や諸物価の高騰に対し、販売価格への反映に時間差が生じたことに加え、千葉豪雨・台風25号に伴う操業への影響等もあり、厳しい状況となりました。

この結果、連結売上高は34,296百万円（前年同期比4.1%増）となりましたが、連結経常利益は2,877百万円（前年同期比15.7%減）、当期純利益は1,954百万円（前年同期比18.2%減）となり、増収減益となりました。

【当期の見通し】

国内薄板建材需要は、新築需要が引き続き力強さを欠く一方で、改修・リフォームへのニーズが金属屋根・壁の需要を下支えすることが期待されます。また、下期も原板、亜鉛、アルミ、塗料等の価格の高止まり・上昇が懸念されます。

このような環境下、当社グループは、コスト上昇に見合う販売価格の改定を着実に進めるとともに、次の施策を通じて収益基盤の強化に取り組みます。

1）鋼板事業では、2028年に予定されているカラー鋼板のJIS改正に向けて、環境に優しいクロメートフリーカラー鋼板「Jクラフト®」、優れた加工性を有する「ガルフレックス®」の拡販を強化します。また、商品価値について丁寧に説明し、再生産可能な適正価格形成に取り組みます。

2)製造面では、安定操業を継続させ、無駄のない効率的な生産と品質向上に徹します。設備老朽化への対応、カラー鋼板の品質レベルアップ、今後の商品展開を見据えた製造基盤を整備します。

3）建材事業では、省施工・省エネルギー・自然災害対策のニーズに沿った商品を充実させます。「Jロック®」「タイトロック®」「ジョイント立平®」の拡販、「ジョイント断熱®」の本格販売、「ジョイント横葺®」の生産体制構築を進めます。

4）環境対応では、GX鋼材・電炉材の販売準備を進め、早期の市場投入を目指します。また、製造所および関係会社における太陽光発電設備の稼働を通じて、再生可能エネルギーの活用とCO_2排出量の削減を実現させます。

以 上